

東日本大震災広島中央保健生協支援対策ニュース

NO. 20(2 ページ) 2011.4.6 8:30 発 広島中央保健生協対策本部

1. 第2陣、福山院長(生協さえき病院)からの報告第1報

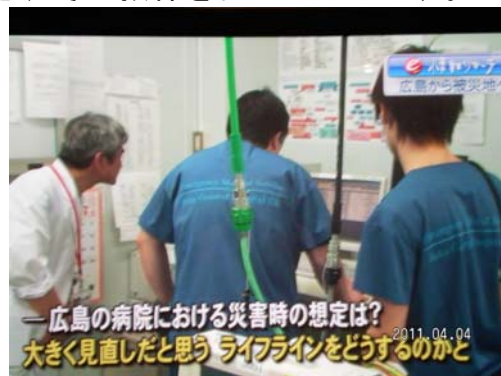
4月3日(日)夜に福山院長、野田師長、万徳技師が医療支援を終え、無事、広島に帰ってこられました。福山院長からメールで報告が届き、その抜粋をお知らせします。

3日間の災害支援を行った。＜中略、坂総合病院で＞外来、救急に入り、若干は現地医師の負担軽減にはなったであろうか。＜中略＞避難所は悲惨である。歩ける人は日中は家に帰っての片づけをしており、避難所も少なくなるが、夜は寒い、食べ物が限られる、トイレなど衛生環境ははなはだよくない。

風邪が“治りきらない”というひと、普段は血圧は高くないのにとても高くなっている人が見受けられた。医療相談窓口で診療もしているが、患者数は多くはない。足湯は好評の様子。

長期戦であり、医療サービスは移動に困難を伴う高齢者障害者が中心となると思われる。精神面での問題は今後顕在化していく可能性がある。避難所での介護サービスのニーズもありそうだ。

地域訪問。回った地域は道路以外の多くは手つかずの様子で、まだ人が住んでいない、住める状況ではなかった。坂病院からの訪問であることを告げると、どの人も歓迎の意向を表されたのが印象的だった。不足する物資も特にはないとのことで、マスクを配ると重宝がられた。具体的な何かをしてあげる(片づけボランティアなど)、また、声を聞くことで被災者へ全国からの支援の気持ちが伝わったように思えてうれしく感じた。現場を見せてもらうことも大事であった。



【4月4日(月)RCC放送「イブニングフォー」より
左が福山院長】



【4月4日(月)支援第3陣の長谷川さんより
坂総合病院の近く、セツ浜の様子】

被曝の問題: 行きのバスでは、所々で線量測定をしたが、最大で $1.3 \mu\text{Sv}$ であった。現時点では、坂病院への派遣は若い人も問題とならないのではないだろうか。

支援者の装備: 着替え、洗面道具だけでも、生活できる。シャワーも使える。今後、坂病院を拠点とした活動は、避難所を含め縮小傾向の様子ではある。全日本民医連の要請に応え続けたい。若い人も是非参加をと思われた。物資は、山積みされており、物よりお金が必要か。＜以上、福山院長メール報告＞

2. 第4陣(4月10日～)で村崎看護師が医療支援へ

第5陣(4月17日～)で田代院長(福島生協病院)、住吉放射線技師が医療支援へ、一緒に行く人、募集中!

医療支援者用の寝袋も募集中!

- 第4陣は、訪問看護ステーションコープ五日市の村崎看護師が4月10日(日)～16日(土)となります。
- 第5陣は、福島生協病院の田代院長が4月19日(火)～24日(日)、福島生協病院放射線科・住吉放射線技師が4月17日(月)～23日(土)支援となります。

3. 第3陣(土佐岡看護師、長谷川保育士)、現地からの報告

今朝(4日・月)、たくさんの民医連の職員の方々に見送られ東京を出発し…無事に坂総合病院に到着しました。＜中略＞昼食は朝コンビニで購入しなくても途中で昼食休憩をとれますし…坂総合病院の中にも自動販売機があるし、近所にセブンイレブンもあるので…重たい思いをしなくても水分などの心配はない事を後続の方へお伝えください(^_^)v

食事は…炊き出しは無くなり…朝・夕は障害者施設よりパンを仕入れ…昼は給食センターのようなところから仕入れられてくださるそうです。

出発前のお話では…これまでは緊急災害支援という支援をしてきたが…これからは介護や慢性疾患の方への長いスパンでの支援に切り替えるという事でした。＜中略＞今日の任務は鋭気を養う事と言われ…まだ何も仕事をしておらず…皆さんでタクシーに乗り合わせて七ヶ浜などの被害地などを視察してきました。本当に家が根こそぎ無くなり流れている風景に絶句でしたが…運転手さんによると、松島や石巻などの被害は比べものにならないほどだと言っておられました(>_<)

深夜にならないと明日の自分の任務がわからないので、どのような仕事になるかわかりませんが…1人でも多くの方に笑顔が戻るように役立てればと思います o(^-^)o それではまた報告します(^-^ゞ先ほど軽い余震がありました(;^_^A

4. 第11回支援対策本部会議の報告

4月5日(火)朝に対策本部会議を開催しました。

1) 現地状況に関する情報共有(上記、福山院長メールの紹介等)

2) 支援体制

① 医療支援：上記の第4陣、第5陣を確認。できればチームでの支援が望ましいので、支援希望者を引き続き募ることとしました。

医療支援希望者は30名(4月4日時点)

福島生協病院：医師5名、理学療法士1名、看護師6名、検査技師2名、放射線技師1名

生協さえき病院：医師1名、看護師1名、放射線技師1名、事務1名、歯科事務1名

コープ五日市診療所1名、訪問看護ステーションコープ五日市：看護師2名

生協歯科ひろしま：医師1名、衛生士1名

地域包括支援センター：1名、院内保育園1名、総務部1名、本部：2名

② 支援物資：引き続き、毎週水曜日に集約。日本医療福祉生協連に問い合わせ送ります。

3) 支援に入る職員への対応について

① 支援者へのオリエンテーションの実施と事前準備(チケット、宿泊等)

第4陣の村崎看護師：大田事務長(コープ五日市診療所)

② 日本医師会災害チーム(JMAT)に関連した補償体制

医師参加のチームに限り対象となります。

4) 医薬品、医療材料等の仕入れ状況

5) 募金の状況

① 引き続き毎週火曜日に総務部へ

② 募金の一部を支援の経費の一部に充当することとします。

6) 支援者の年齢制限方針の扱いについて

○ 年齢制限を廃止する方向を確認しました。決定後、後日ニュースでお知らせします。

7) その他

○ 藤原副理事長が4月9日(土)～10日(日)で全日本民医連被ばく問題委員会に出席の予定。

以上